

那珂市議会教育厚生常任委員会記録

開催日時 平成31年2月8日(金) 午後1時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 筒井かよ子 副委員長 富山 豪

委員 小泉 周司 委員 古川 洋一

欠席委員 委員 寺門 厚 委員 中崎 政長

職務のため出席した者の職氏名

議長 君嶋 寿男 次長 清水 貴

次長補佐 横山 明子

会議に付した事件

(1) 調査事項「障がい児教育」について

…視察研修について意見交換

議事の経過(出席者の発言内容は以下のとおり)

開会(午後1時11分)

委員長 それでは時間になりましたので、教育厚生常任委員会を開会いたします。

きょうは朝から菅谷小学校と菅谷幼稚園と2箇所の視察を行っていただきまして、まことにありがとうございました。

ここで、今回から小泉委員が新たに加わりましたので、ご連絡をいたします。

小泉委員は今回の補欠選挙におきまして、トップ当選を果たされまして、さらに、この教育厚生常任委員会に入ってくださいました。

一言よろしいでしょうか、小泉委員。

小泉委員 ご紹介いただきました小泉でございます。

市の職員でおりましたので、ある程度の幅広い知識を持っているかと思いますが、私としては教育、特に福祉のほうは関係しておりませんでしたので、これから先輩方に学びながら、那珂市のためにがんばっていきたくと思いますので、よろしく願いいたします。

委員長 よろしく願いいたします。

それでは、ご連絡いたします。

会議は公開しており、傍聴可能とします。

また、会議の映像を庁舎内のテレビに放送します。

会議内の発言は必ずマイクを使用し、質疑答弁の際は簡潔かつ明瞭をお願いいたします。

携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくかマナーモードにしてください。

ただいまの出席委員は4名であります。

欠席委員は、寺門委員、中崎委員の2名であります。

定足数に達しておりますので、これより教育厚生常任委員会を開催いたします。

職務のため、議長及び議会事務局職員が出席しております。

ここで議長よりご挨拶をお願いいたします。

議長 先ほど筒井委員長からも話がありましたように、教育厚生常任委員会、障がい児教育について午前中、菅谷小学校並びに菅谷幼稚園の視察、まことにご苦労さまでした。

その視察をしてきた内容等についてこれから委員会で活発なご意見をいただいて、まとめていただければと思いますので、よろしく願いをいたしまして、挨拶にかえさせていただきます。ご苦労さまです。

委員長 それではこれより議事に入ります。

1、調査事項、障がい児教育についてを議題といたします。

本日、特別支援教育について調査するため、菅谷小学校及び菅谷幼稚園の視察を行いました。皆様から感想やご意見をいただき、今回の視察研修についてまとめていきたいと思っています。

お1人ずつお願いしたいのですが、どうぞご意見のある方はお話しをお願いいたします。

古川委員 きょうはお疲れさまでした。

意見ということではなくて、要望という形になろうかと思えますけれども、やはり人なんだらうなという気がいたします。

ただ、この支援員というのは、予算があればそれはいくらでもつけることはできるんでしょうけれども、やはり根本的なところで国の政策として、これからその障がい児教育についてということに対して取り組んでいただきたいなというふうに思っています。

ですから、私も先ほど学校で質問をさせていただきましたけれども、例えば大学の教育学部とかで有資格者、いわゆる特別支援教育の資格者を育成してほしいなど。

そのためには当然、学部なり学科の枠というものがあるでしょうから、そういったところはどうしても、市単独ではできないと思いますので、国レベルでお願いしたいと。そのために、この那珂市議会から微力ではありますがありますけれども、国に対して要望書を上げるとか、そういったことも一つの手なのかなと。

それからまた、委員長もおっしゃってましたけども、クールダウンする部屋がないというようなことに対して、あとは支援員の増員とかに関しては、市のほうに引き続き要望してもいいのかなということを感じました。

以上です。

委員長 そのほか、ございますでしょうか。

小泉委員 本日は皆様お疲れさまでございました。

私は前回と前々回を出ておりませんので、あくまでもきょう菅谷小学校、それから菅谷幼稚園を視察した感想になってしまいますけれども、現場の声がきょう聞けてすごくよかったなというのは一つの感想でございます。

いろいろ対応していかなければいけないこともあると思うんですが、話を聞いておりますと、やはり教育委員会のほうとしても、対応できる場所はある程度されているのかなという感想を持ちました。

その上で、現場の要望にどうこたえていくかということだと思っておりますが、資格を持っている方が少ないとか、なかなか早急に対応が難しいところもあるのかなと。

そういうところでは、ある程度、先ほど古川委員から出ましたとおり、要望のような形で関係機関に働きかけていくということも必要かなと思いますし、その一方で、先ほどのクールダウンの部屋ではないですけれども、もし、早急に那珂市の対応として、取れるようなところがあれば、それは対応していただく必要があるのかなというふうには思いました。

ただあそこも、教室がもうあいているところがないという状況ですので、どこまでの費用をかけて対応していく必要があるのかというのは十分に協議の必要があるかなというふうに思います。

またいろいろ特別支援学校とか、特別支援教室という部分で、今はインクルーシブというところで、世の中の流れは、なるべく、差別ではないですけれども同じ扱いをしていくと、日常生活の中で分け隔てなくやっていくという流れになっているのかなというふうには思います。

その中で、私一番大事なのは、那珂市として、まずこの問題をどう考えていくのか、そしてどのような方針でいくのか。例えば、今聞いてきたところによると、同じことはやっているけれども、菅谷東小学校は一番充実していると。これは過去の流れもあったというふうには思いますけれども、菅谷東小学校のような施設を各小学校に整備していくのか、それとも、あそこに集約をしていくのか、いろいろな考え方があると思います。

まず市の方針として、このインクルーシブというものにどう対応していくのか。私、前回と前々回が抜けているのでそう思ったのかもしれませんが、そのあたりをもう少し私はしっかりと聞いて、その計画に沿った長期的な視点に立った整備とか、方針というものもある程度必要なのかなというふうに思ったところです。

以上です。

委員長 今小泉委員から感想が述べられましたが、今のお話の中で、那珂市としての方針という言葉が出ましたけれども、これはやっぱり市のほうに問い正していく必要があるのかなと今感じました。

そのほかありませんか。

副委員長 視察研修、たいへんお疲れさまでございました。

一番感じたのが、先生はありとあらゆることをやっているんだなと、先生の勤務状態っていうのが実際本当に心配になるぐらいにいろんな生徒の対応から保護者への対応、人員の不足って言われるのが確かによくわかりました。

あと、幼稚園のほうなんですけど、支援員の方がパートさんで、クラスに1名ずつはいるが、なかなか働き方の勤務の時間に上限があったり、こういうのは何とかならないのかなってというのは本当に感じましたね。

そのハード面なんていうのはちょっと時間がかかっちゃう問題ですが、この先生方の働き方をもう少し考えてあげることができないのかなってというのは強く思いました。

教育委員会と先生方が、求めている人員の幅に隔たりがあるということも感じて、どちらをおもんばかれば、現場だとは思いますが、そこまでやるということはっていうのは、教育委員会の方々も言っていたとおり、先生のことを思えばやってあげたいなと思うんですが、この辺もみんなですべて話合っただけで決めていかなきゃならないのかなと、いろんな意見があるでしょうから。

ちょっとまとめませんが、すみません。

委員長 私の感想を述べさせていただきます。

正直言って、クラスの中に、そういう問題を抱えた子供が一緒にいるということが、やっぱり先生方の配慮の中で大変なことだろうなというのは感じましたけども、いろんな面で、先生方、今副委員長もお話しされましたが、やっぱり先生方の苦労が大変なことがあるのではないかなということを感じました。ですから先生方が支援員の人数がっていうところで、もうちょっとふやしてほしいっていうのは、そのとおりだろうなと思いました。

ただ、幼稚園のほうを見させていただいたときに、そのクラスの中に1人2人はいらっしゃるんですけども、幼稚園のころは年齢的にも、そんなに敏感に感じる年齢じゃないので、みんな楽しそうに一緒に生活しているのが、救いだなということでございます。

ただ、幼稚園のほうはこれから小学校にその子供たちを送り出すということがあるので、それなりに配慮の上にやってらっしゃると思いました。

ですから、まず感じたのは人員的なものをもう少し改善してあげたいなということでありました。

以上です。

そのほか、特別に何かこれはというようなことがありましたら。

今お話いただきましたので、そのほかに先ほど言わなかったけどこういうのがあったなっていうのもありましたら、お話しいただければと思いますが、ございませんでしょうか。

(なし)

委員長 それでは前回茨城大学附属特別支援学校と、それから常陸太田特別支援学校を見させていただいたときに一応まとめましたので、きょうのこともまた副委員長のほうにまとめていただきたいと思います。

それで、結果的に最終的にはその全部をひっくるめた形でのまとめを最終的にしたいなということで考えております。

それで今までずっと障がい児教育についてということで視察してまいりましたが、ここ

まで調査をしてきた中で、この調査について、まだまだこの後、こういうことで調査をする必要があるのではないかと、あるいは、この辺でよいのではないかっていうことをちょっとお聞きしようかと思うのですが、古川委員どうでしょうか。

古川委員 とりあえず今これからまとめていただくものと、前回までのものをまとめるわけですね。まとめてそれをどうするか、例えば要望書を出すのか、意見書を出すのか、そういったことは当然あるべきだなと思ってますけど、その先にどうするかっていうことであれば、私は調査完了でもよろしいのかなと思いますけど。

委員長 今回やった調査についてまとめた上で、その先には、いいだろうというような意見でしょうか。

古川委員 いいというよりも、その先にどこまで我々がつつこんでいいのかっていうのも、ちょっと自分自身わからないところもあるので、いろいろなお話を伺った上で、先ほど小泉委員が言ったように市として、また県に対して、例えば教員の配置は県ですね。

あとは国の制度上の問題とか、そういったところにそれなりの要望なり意見を出す以外にはちょっとその先に、またさらに突っ込んで、今度は保護者の方のお話を聞きましょうとかっていうのはちょっと難しいのではないのかなっていう気がいたしますけれども。

委員長 正直、保護者からの意見というのはちょっと無理だったんですね。今回もちょっとそういう話が出たんですが、保護者の意見というのはちょっと無理だったものですから、きょうのような幼稚園と小学校の視察という形になりました。

副委員長 きょう行ったところもそうなんですけど、菅谷東小学校はこの前行って、菅谷小学校、菅谷幼稚園と行きましたけど、本市の先生方とお話しして、要望としていろいろ出ましたよね。クールダウンできるスペースが欲しいとか、専門的知識を持った生活指導員を増員してほしいとか、働き方の上限を何とかしてほしいとか、伝えられる要望として伝えるのはいいんじゃないかなと思うんですよね。

市のほうに、できるできないは別として、きょう先生方と話をしてみて、こんな要望がありましたっていうのを市のほうに伝えるっていうのは、いいことだと思うんで、あと、この間就労までなんていう話もありましたけど、とりあえず学校で一区切りにするんだったら、今回のところで終了でもいいのかなっていう気はします。

ただ、どのようなまとめ方、私に任せてよろしいというんだったら、私は多分要望を伝えるようなまとめ方になるのかなと。先生方の苦労はいっぱいきょう聞いてわかりましたので、それをまとめて市のほうに、このように改善していただきたいみたいな、そんな感じの要望になっていくのかなと思います。

委員長 今、副委員長のほうからお話がありまして、古川委員の方からもお話がありましたように、今回のこの学校の視察研修につきまして、要望、その他について1回まとめまして、それを市のほうに提言というか要望というか、そういう形で出して、一区切りつけたいなとも思うのですが、それでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ声あり)

委員長 じゃそのような形にします。

そうしましたら、その後につきましては、もうこの学校視察云々っていうのはこれで終わりになりますので、次の課題について調査していくっていうような形にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ声あり)

委員長 ではそのようにさせていただきます。

それで、3月の定例会のときの教育厚生常任委員会でまとめたものをお見せするような形で、確認していただくような形でよろしいでしょうか。

古川委員 きょうちょっと欠席の委員が2人おりますから、今ここで決めちゃっていいかどうかわかりませんが、まとめをされて、先ほど私が言ったのは、そのまとめをもとに要望という形でも、意見という形でも、それなりの機関に出したほうがよろしいんじゃないかなと思うんで、その案もひとつ次回用意していただければ。要望書案みたいな感じで。

委員長 3月の定例会のときの常任委員会でよろしいですね。その前にですか。

古川委員 そのときでいいです。

それでそのときに、今度次のテーマはということでまた、2つ目の議題として検討されたらよろしいんじゃないでしょうか。

委員長 そのような、今意見が出ましたような形で、3月のときにまとめたものを皆さんに提案しまして、それでいいというときには、次のことを決めていきたいと思いますので、皆さんのほうでも、次は何を調査事項とするか、ご検討をしていただければと思います。

それでは、そのような形になりましたので、きょうの教育厚生常任委員会としては以上で。次に何かっていうのはまた3月のときに、考えてきていただきまして、そのときにしたいと思いますので、きょうは朝早くから視察、それから午後に教育厚生常任委員会ということで貴重な意見を出していただきまして、まことにありがとうございました。

以上で、教育厚生常任委員会は終了いたします。ありがとうございました。

閉会 (午後1時31分)

平成31年3月6日

那珂市議会 教育厚生常任委員会委員長 筒井 かよ子